

見積条件について

今後の予算総額を算定するため、サウンディングによる意見交換を踏まえ、次の条件で見積の提出をお願いします。

1. 見積の前提条件

経費の試算については、可能であれば全ての経費の試算をお願いします。

しかしながら、サウンディングに参加される各企業の業種によって算定できる経費も異なることから算出可能な範囲での見積をお願いします。

(例：建築会社であれば既存建物の解体費や施設整備費等、運送会社であれば配送経費等)

見積の書式について指定はありませんが、次の項目と可能な限り詳細な内訳について提示いただきますようお願いします。

また、見積内容を補足するための資料についても様式に規定は設けません。

2. 見積書の取扱いについて

提出いただいた見積書及び補足資料は、市が予算額を算定することにのみ使用するため、市内部で共有します。

提出いただいた見積書及び補足資料など関連資料は各企業のノウハウそのものであることから資料そのものは非公表としますが、予算算定に必要な情報等一部情報を抜粋して使用する場合がありますのでご了承ください。

3. 見積の条件について

(1) 事業規模

提供人数	約 8,800 人 供給可能数は 9,000 人を要求
配送学校数	14 校
年間工場稼働日数	約 195 日 給食実施日は学校毎に変動有
各学校の給食提供日	約 175 日 程度 (R4.8 月～R5.3 実績：159～185 日)
配送車両	10 台で想定 想定車両は 3 t パワーゲート装備の車両
配膳員	1 校当たり 4 人～9 人 実働約 4 時間 (時差勤務等) 総勢 74 人を想定

(2) 給食の提供方法

2 パターンを想定

- ・パターン 1 全ての給食を食缶で提供
- ・パターン 2 食缶とランチボックス併用の提供

※ 詳細は別紙資料 4-1～4-3 を参照してください。

(3) 見積経費について

A. 解体経費

既存給食センターの解体経費
(アスベストの処理を含む)

B. 食品工場建設費

- B-1 設計、管理、手続等
- B-2 建設工事費
- B-3 設備・備品設置工事費

C. 運営経費 (1年間当たりの経費)

- C-1 食品工場人件費
- C-2 食品工場運営に係るその他経費
(光熱水費、消耗品費、施設維持管理費他)
- C-3 配送経費
(人件費、車両費等の経費も含む)
- C-4 配膳員経費
※食材(材料)費は別途

※ 見積は令和5年9月時点の価格での見積をお願いします。
また可能であれば今後の物価上昇を見込みA. Bについては令和7年1月時点の物価上昇率、Cについては令和9年4月時点の物価上昇率について何%程度の上昇を見込むか、見立てをお聞かせください。

予算額の算定について

A. B. Cに市が想定する資産流動化関係の経費を加えた総額を算定します。

各経費の支払いについて

1. 既存建物解体経費は解体完了時に負担金として一括で支払います
2. 食品工場建設費20年間の委託経費に分割して組み込みます
3. 運営経費は、毎年の委託経費にあたります。経済状況等を勘案し5年毎に金額の更新を行います。